

# 上越南地区商工会景況調査報告書

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 上越南地区（牧区、三和区、中郷区、板倉区、清里区）  
イ 対象企業 同地区内商工会員  
ウ 調査企業数 60 事業所（うち小規模事業者数 58 事業所）  
エ 回答企業数 60 事業所  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

令和6年 7月～ 令和6年 9月  
(調査時点： 令和6年10月1日)

### (3) 調査方法

会員へ調査票を配布し回答を回収した。

※本報告書中の「DI」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
1 建設業	17	28.3%	17	28.3%
2 製造業	9	15.0%	9	15.0%
3 卸売業	4	6.7%	3	5.0%
4 小売業	14	23.3%	14	23.3%
5 飲食・宿泊業	8	13.3%	9	15.0%
6 サービス業その他	8	13.3%	8	13.3%
合計	60	100.0%	60	100.0%

	小規模企業	中小企業	大企業	合計
規模別回答企業数	58	2	0	60
構成比	96.7%	3.3%	0.0%	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

今回の調査では前年同期比・前期比・今後の見通しと全調査期間の指標において景況感は「不変」の回答割合が最も高かった。大幅な売上増加が難しい中、仕入単価、水道光熱費、人件費等の上昇により採算性は厳しく、全体的に先行きの不透明感が感じられる回答となった。

**【売上高】**

売上DI値については、前年同期比（R5.7月～9月）で3.3ポイント、前期比（R6.4月～6月）で15.0ポイントの下落、さらに今後の見通し（R6.10月～12月）においても10.0ポイントの下落となった。いずれの調査期間においても売上DI値はマイナスであり、先行きの不透明感を示す結果となった。

**前年同期比**

増加	不変	減少
16	20	24

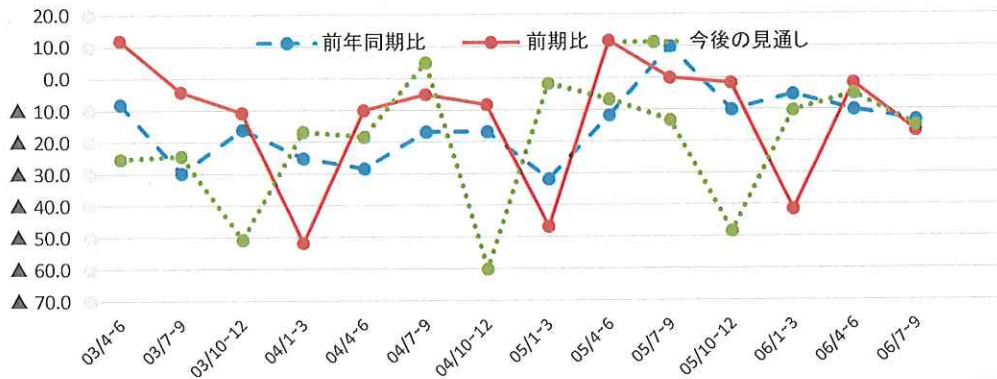
**前期比**

増加	不変	減少
14	22	24

**今後の見通し**

増加	不変	減少
13	25	22

**売上DIの推移**



	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12	06/1-3	06/4-6	06/7-9
前年同期比	▲ 8.0	▲ 29.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 28.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 31.7	▲ 11.7	10.0	▲ 10.0	▲ 5.2	▲ 10.0	▲ 13.3
前期比	12.0	▲ 4.1	▲ 10.7	▲ 51.7	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 8.3	▲ 46.7	11.7	0.0	▲ 1.7	▲ 41.4	▲ 1.7	▲ 16.7
今後の見通し	▲ 25.3	▲ 24.3	▲ 50.7	▲ 16.7	▲ 18.3	5.0	▲ 60.0	▲ 1.7	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 48.3	▲ 10.3	▲ 5.0	▲ 15.0

**【採算】**

採算値DIについては、前年同期比（R5.7月～9月）で10.0ポイント下落し、前期比（R6.4月～6月）では11.6ポイント下落。さらに、今後の見通し（R6.10月～12月）でも5.0ポイント下落している。前回の調査（R6.7.1時点）ではやや改善が見られていたが、今回の調査では悪化傾向を示す結果となった。

**前年同期比**

好転	不変	悪化
5	34	21

**前期比**

好転	不変	悪化
8	30	22

**今後の見通し**

好転	不変	悪化
8	33	19

**採算DIの推移**



	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12	06/1-3	06/4-6	06/4-8
前年同期比	▲ 21.3	▲ 25.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 38.3	▲ 23.3	▲ 15.0	▲ 30.0	▲ 16.7	5.0	▲ 26.7	▲ 20.7	▲ 16.7	▲ 26.7
前期比	▲ 6.7	▲ 12.2	▲ 12.0	▲ 41.7	▲ 15.3	▲ 26.7	▲ 11.7	▲ 43.3	▲ 1.7	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 44.8	▲ 11.7	▲ 23.3
今後の見通し	▲ 32.0	▲ 18.9	▲ 46.7	▲ 16.7	▲ 26.7	▲ 6.7	▲ 51.7	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 23.3	▲ 45.0	▲ 17.2	▲ 13.3	▲ 18.3

### 【仕入単価】

仕入単価については、前年同期比（R5.7月～9月）で1.7ポイント上昇したが、前期比（R6.4月～6月）では1.6ポイント上昇となった。今後の見通し（R6.10月～12月）では±0ポイントとなった。依然D I値はもプラスであり、仕入単価の高止まり感を示す結果となった。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
41	19	0

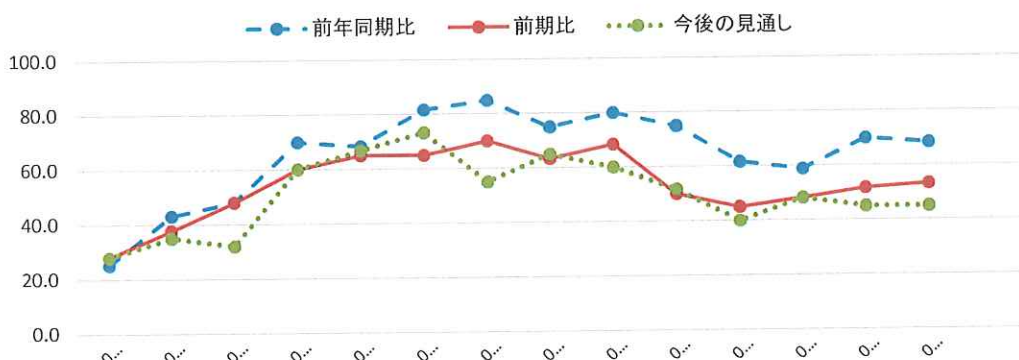
#### 前期比

上昇	不変	低下
33	26	1

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
29	29	2

### 仕入単価DIの推移



	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12	06/1-3	06/4-6	06/7-9
前年同期比	25.3	43.2	48.0	70.0	68.3	81.7	85.0	75.0	80.0	75.0	61.7	58.9	70.0	68.3
前期比	28.0	37.8	48.0	60.0	65.0	65.0	70.0	63.3	68.3	50.0	45.0	48.2	51.7	53.3
今後の見通し	28.0	35.1	32.0	60.0	66.7	73.3	55.0	65.0	60.0	51.7	40.0	48.2	45.0	45.0

### 【販売（客）単価】

販売単価については、前年同期比（R5.7月～9月）で3.4ポイント下落し、前期比（R6.4月～6月）では±0ポイントであるものの。また、今後の見通し（R6.7月～9月）では3.4ポイントの下落となっている。物価高騰による買い控えが感じられる結果となった。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
17	34	9

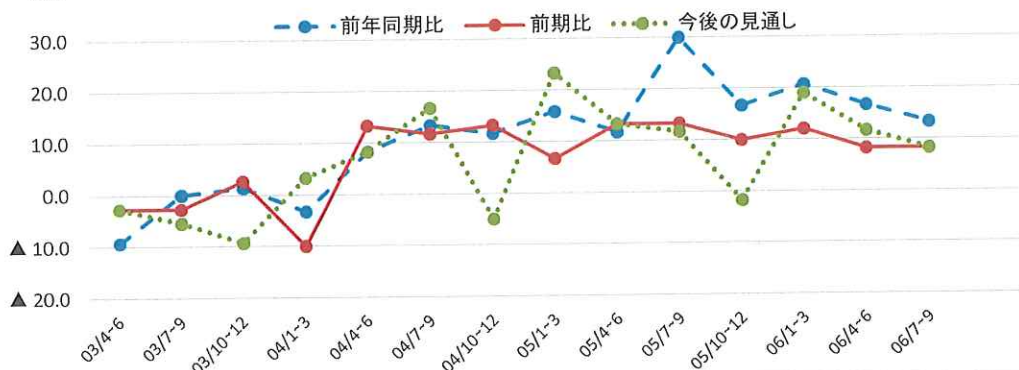
#### 前期比

上昇	不変	低下
13	39	8

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
13	39	8

### 販売（客）単価DIの推移



	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12	06/1-3	06/4-6	06/7-9
前年同期比	▲ 9.3	0.0	1.3	▲ 3.3	8.3	13.3	11.7	15.8	11.7	30.0	16.7	20.7	16.7	13.3
前期比	▲ 2.7	▲ 2.7	2.7	▲ 10.0	13.3	11.7	13.3	6.7	13.3	13.3	10.0	12.1	8.3	8.3
今後の見通し	▲ 2.7	▲ 5.4	▲ 9.3	3.3	8.3	16.7	▲ 5.0	23.3	13.3	11.7	▲ 1.7	19.0	11.7	8.3



### 【資金繰り】

資金繰りについては、前年同期比（R5.7月～9月）で5.0ポイント上昇となったものの、前期比（R6.4月～6月）では1.6ポイントの下落。今後の見通し（R6.10月～12月）では10.0ポイントの下落となっている。「不変」との回答が多数を占めており、また、いずれの期間においてもDI値はマイナスであることから、依然として資金繰りに不安を感じている事業所は多いことを示す結果となった。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
7	40	13

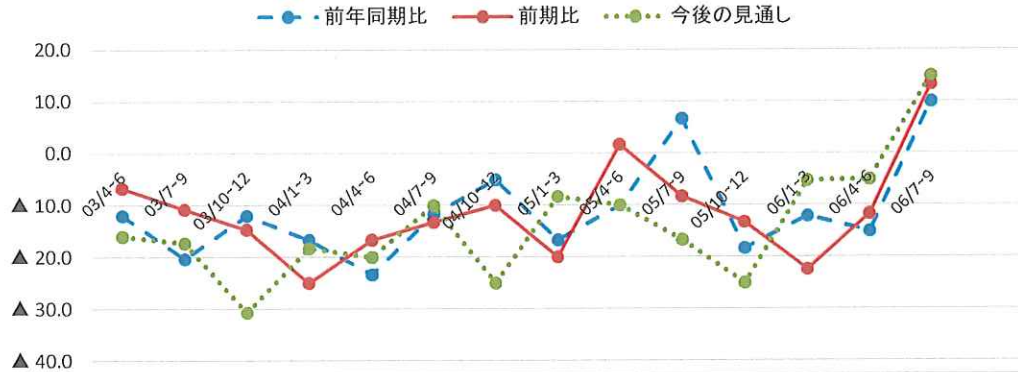
#### 前期比

好転	不変	悪化
4	44	12

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
4	43	13

### 資金繰りDIの推移



	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12	06/1-3	06/4-6	06/7-9
前年同期比	▲ 12.0	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 16.7	▲ 23.3	▲ 11.7	▲ 5.0	▲ 16.7	▲ 10.0	6.7	▲ 18.3	▲ 12.1	▲ 15.0	10.0
前期比	▲ 6.7	▲ 10.8	▲ 14.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 10.0	▲ 20.0	1.7	▲ 8.3	▲ 13.3	▲ 22.4	▲ 11.7	13.3
今後の見通し	▲ 16.0	▲ 17.3	▲ 30.7	▲ 18.3	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 8.3	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 5.2	▲ 5.0	15.0

### 【雇用動向】

雇用動向については、前年同期比（R5.7月～9月）で3.4ポイント下落し、前期比（R6.4月～6月）、今後の見通し（R6.10月～12月）では±0ポイントであった。いずれの期間においても「不変」の回答割合が最多であり、またDI値もマイナスであることから大幅な改善は見られない。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
0	56	4

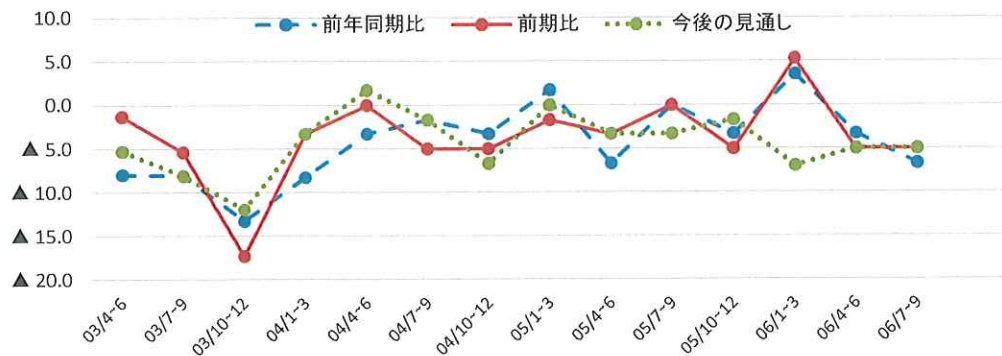
#### 前期比

増加	不変	減少
0	57	3

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
2	53	5

### 雇用動向DIの推移



	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12	06/1-3	06/4-6	06/7-9
前年同期比	▲ 8.0	▲ 8.1	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 3.3	1.7	▲ 6.7	0.0	▲ 3.3	3.5	▲ 3.3	▲ 6.7
前期比	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 17.3	▲ 3.3	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 1.7	▲ 3.3	0.0	▲ 5.0	5.3	▲ 5.0	▲ 5.0
今後の見通し	▲ 5.3	▲ 8.1	▲ 12.0	▲ 3.3	1.7	▲ 1.7	▲ 6.7	0.0	▲ 3.3	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 7.0	▲ 5.0	▲ 5.0

【景況判断】

景況判断については、前年同期比（R5.7月～9月）で1.7ポイント上昇したものの、前期比（R6.4月～6月）では10.0ポイント下落した。今後の見通し（R6.9月～12月）では3.4ポイントの上昇となった。いずれの期間においてもDI値はマイナスであり、先行きの不透明感が感じられる回答となった。

前年同期比

好転	不変	悪化
9	30	21

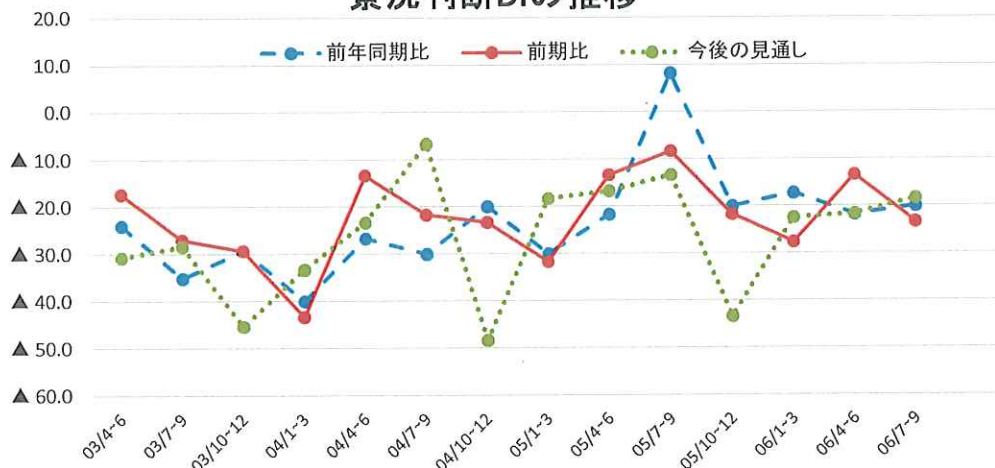
前期比

好転	不変	悪化
4	38	18

今後の見通し

好転	不変	悪化
6	37	17

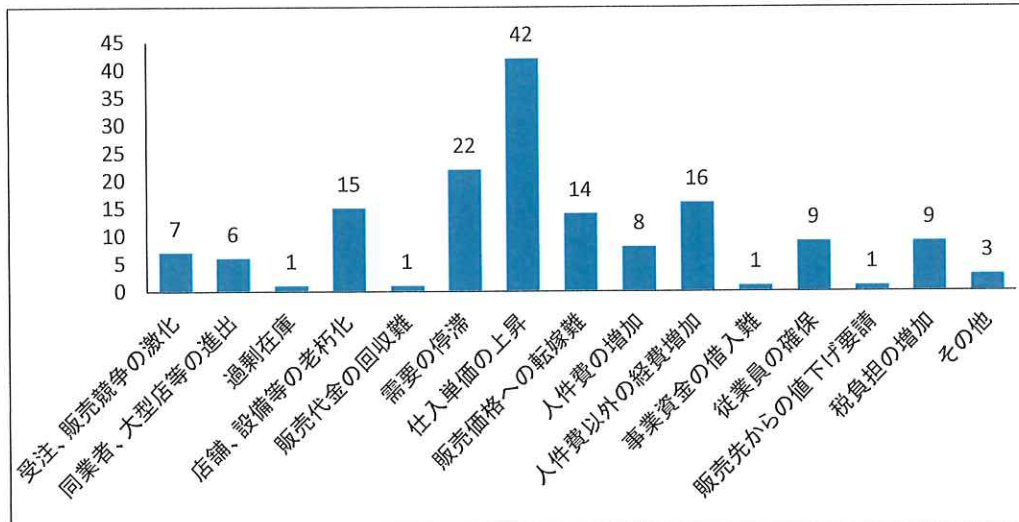
景況判断DIの推移



	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12	06/1-3	06/4-6	06/7-9
前年同期比	▲ 24.0	▲ 35.1	▲ 29.3	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 21.7	8.3	▲ 20.0	▲ 17.2	▲ 21.7	▲ 20.0
前期比	▲ 17.3	▲ 27.0	▲ 29.3	▲ 43.3	▲ 13.3	▲ 21.7	▲ 23.3	▲ 31.7	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 21.7	▲ 27.6	▲ 13.3	▲ 23.3
今後の見通し	▲ 30.7	▲ 28.4	▲ 45.3	▲ 33.3	▲ 23.3	▲ 6.7	▲ 48.3	▲ 18.3	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 43.3	▲ 22.4	▲ 21.6	▲ 18.3

【経営上の問題点】

経営上の問題点について、今回の調査も前回調査と同じく「仕入単価の上昇」との回答が最も多く、「需要の停滞」「人件費以外の経費増加」「店舗・設備等の老朽化」が続く。物価高騰の影響から需要の停滞が続き、建物の修繕、設備の更新を控える傾向が続いているものと思われる。





### 3. 産業別景況概要

#### (1) 建設業

建設業の売上高について、前回調査に続き「増加」の回答が一定数見られた。しかしながら、全項目において「不変」との回答が多く、先行きの不透明感が感じられる。経営上の問題点については、「仕入単価の上昇」が最多で、「人件費以外の経費増加」「従業員の確保」が同数で続いた。

#### (2) 製造業

製造業の売上高については、前年同期比、前期比では「不変」との回答が最多であったが、今後の見通しでは「不変」「悪化」が同数となっている。仕入単価については、依然「上昇」との回答が多く見られた。経営上の問題点でも、「仕入単価の上昇」が最多であり、「販売価格への転嫁難」が続いた。

#### (3) 卸・小売業

卸・小売業の売上高については、他の業種と比べ「上昇」「不変」「下落」の割合が分散しており、事業所に差が見られる結果となった。一方、仕入単価の高止まりにより採算性、景況判断に依然不透明感が感じられる。経営上の問題点については、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」が同数で最多であり、「店舗・設備等の老朽化」が続いた。

#### (4) サービス業（飲食・宿泊を含む）その他

サービス業の売上については、「上昇」「不変」「下落」の回答割合に分散が見られたが、飲食・宿泊業においては、前期比、今後の見通しで「上昇」が最多となった。しかしながら、仕入単価については、依然「上昇」との回答が多く、今後も高止まりも予想される。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」が最多で、「需要の停滞」「販売価格への転嫁難」が続いた。

※ 今後の事業・経営において強化したい・期待したい点（設備投資・販路開拓等）や現在の経営環境下において貴社が感じておられる自由意見

#### 【建設業】

- ・従業員の確保や増員したいと思っています。中々なり手が少ない状況。
- ・営業力の強化、外注先の確保が課題。

#### 【製造業】

#### 【卸・小売業】

- ・キャッシュレス時代となり顧客の増加には繋がってはいるが、粗利の少ない業種にとっては換金等の手数料が利益を圧迫している。
- ・人口減、高齢者増、若者減。大型一極集中指向等、一般の小売業は衰退化が予想される。
- ・原料の入荷が不安定。

#### 【サービス業（飲食・宿泊を含む）その他】

- ・仕入価格がかなり上昇していて、利益が減少しているのでコスト削減に力を入れたい。
- ・コロナ以降客数は少しづつ戻りつつあるが、コロナ融資の返済が始まり返済に不安が生じている。さらに人手不足と人件費増加が重くのしかかっている。
- ・店舗を綺麗にし料金改定したいが高齢であり一歩前に進めない。
- ・客層の高齢化により来店回数が減少している。